

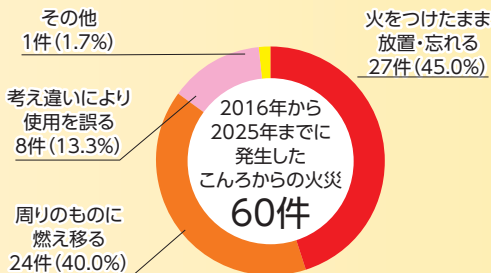
使用中は離れない

こんろ火災

意図しない
点火事例も火まもり君の
火災調査
ファイル

11月に入り空気が乾燥し、火災が発生しやすい時季となりました。
 こんろは日々の調理で使用する身近な火気ですが、少しの油断が火災につながります。本組合管内では2016年から2025年の過去10年間で、こんろ火災が60件発生しています。

こんろ火災の原因の多くは、「火をつけたまま放置する・忘れる」、「周りの物に燃え移る」、「考え違いにより使用を誤る」などです。大切な命と住まいを守るため、日頃から以下のポイントに注意し、こんろ火災を防ぎましょう。



✓ 絶対に離れない

調理中、ちょっと目を離している間に、天ぷら油などが高温になり、火災になってしまう事例があります。調理中のほか、油を固めて廃棄処理しようとする際など、少しの時間でもその場を離れる時は必ず火を消す習慣をつけましょう。



こんろの消し忘れにより油が高温となり出火した火災事例



✓ スイッチを確認

こんろとグリルを間違えて点火してしまい火災になる事例が起きています。点火した後は、「実際に火がついている箇所」を必ず目で確認する習慣をつけましょう。こんろの上に物を乗せた状態で、間違えて点火し、火災になった事例もあります。



グリル内にキッチンペーパーが入った状態でこんろとグリルのスイッチを間違えて、グリルに点火した火災事例



こんろに水切りカゴが乗った状態で点火した火災事例

✓ 物を置かない

こんろの近くに置かれた、燃えやすい布巾やキッチンペーパーなどに、こんろの火が燃え移り火災になる事例もあります。

こんろの近くは整理整頓し、燃えやすい物を置かないようにしましょう。また、袖が広い衣服や表面が起毛している衣服は火が燃え移りやすいので十分注意しましょう。



🔍 こんな事例も

ペットがこんろの点火ボタンに接触し火災になった事例もあります。こんろを使い終わったら、ガスの元栓を閉め、点火ボタンのチャイルドロックをかけましょう。



✓ こまめに清掃

グリルや排気ダクトに油汚れが溜まっていると火が燃え移り内部で火災が発生することがあります。日頃からこまめに清掃を心がけましょう。



油汚れが残ったグリルを清掃



定期的に清掃しましょう

🔥 万が一 油から火が出てしまったら？

絶対に水をかけないでください。油が飛び散ったり、火の勢いが激しくなったりすることから、ご自身も巻き込まれるため大変危険です。慌てずにこんろの火を消し、消火器または水に濡らして固く絞った大きめのタオルで、ゆっくり覆って消火してください。火が天井に届くような場合は、無理に消火せず速やかに避難して、安全な場所で119番通報をしてください。



組合公式YouTube
「天ぷら油火災再現実験」

点検していますか？
**住宅用
火災警報器**

取り付けから10年が経過した住宅用火災警報器は、交換が推奨されています。火災にいち早く気づき、逃げ遅れを防ぐ大切な機器となるため、定期的に点検しましょう。

組合ウェブサイト▶



住宅用火災警報器を
設置しよう！
火災から大切な命と財産を守るために、住宅用火災警報器を設置しましょう。
10年ごとに交換しましょう！
（製造年が不明な場合は、必ず交換してください）

